

要望書（回答）

1、こどもの居場所

こども食堂や放課後デイサービスの情報を苦小牧市でも知らせて広めていただきたい。

【回答】（福祉部障がい福祉課 担当）

市内の放課後デイサービス事業所は、令和3年5月現在、27か所開設されています。現在、市民の方に対しては、各事業所のチラシを市役所のパンフレットコーナーに設置したり、事業所の一覧を配布するなど、事業所を知っていただくための周知を随時行っているところです。

今後においても、引き続き、市民に知っていただくための情報提供に努めてまいります。

（健康こども部こども支援課 担当）

民間団体等により実施されている、いわゆるこども食堂につきましては、地域においてこどもの見守りや居場所などの役割を担っているものと認識しております。

本市といたしましては、実施日や実施内容がそれぞれに異なることや、自主的な活動として市が管理や指導を行う立場にないことから、その活動実態を正確に把握することは困難であると考えております。現段階では、それぞれの活動状況の把握に努めるとともに、各団体に対し可能な範囲での協力をしてまいりたいと考えております。

2、こどもと学校

どの子どもも安心して学ぶことができるよう、国による給食費、教材費の無償化をいっしょにめざしていただきたい。また、報道等でも話題になっているところの学校のトイレの生理用品の提供、設置を苦小牧市でも実現していただきたい。

【回答】（教育部学校教育課・学校給食共同調理場 担当）

給食費及び教材費の無償化については、経済的理由で生活が困窮している世帯に対して、一定の要件を満たした場合に就学に係る様々な活動費の援助を行っています。

全ての児童生徒に対して無償とした場合、本市だけでも数十億円という多額の費用がかかり、全国となると莫大な予算を投じなければならないため、一定の所得のある

保護者の負担はやむを得ないと思いますが、国がこのような声をどのように考えるのか注視していきたいと考えています。

小中学校での生理用品につきましては、女子トイレには配置していませんが保健室には常備しており、必要な女子児童生徒は養護教諭に申し出て受け取ることにしてあります。女子トイレへの配置につきましては、生理用品の補充管理は誰がするのか、また自由に誰でも持ち出せる環境になりますと、本当に必要な子ども達に渡らなくなる、本来の目的以外で使用されるなど懸念される課題があります。

本市では、児童虐待件数が非常に多い状況にあることから、児童生徒と面談することで、その子の家庭環境や実態などが把握できる可能性があり、虐待を未然に防ぐ効果もあると思います。児童生徒からの小さなサインを見逃さないためにも、保健室での提供が望ましいと考えております。

3、こどもと家庭・地域

・子ども医療費の無償化に取り組んでいただきたい。また、経済支援の各制度を知らせ、相談者に十分活用してもらえる取り組みを工夫してください。

【回答】（健康こども部こども支援課 担当）

乳幼児等医療費助成につきましては、令和元年8月から中学生の入院に対して独自拡大し、子育て世帯の経済的負担軽減を図っているところでございます。本市といたしましては、やはり全国一律の基準で受給できるような国による制度設計が望ましい姿であると考えため、引き続き北海道市長会などの要望を重ねてまいります。

また、各種支援制度の周知にあたっては、広報とまこまいへの掲載のほか、医療費助成ポスターの掲示、ひとり親家庭支援をまとめたパンフレット配布など、各制度を十分に活用していただけるよう努めております。

・様々な機関、部署で把握している地域の実態（18才以下の自殺者、虐待、「ヤングケアラー」）をスピーディーに支援につなげてください。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

本市においても20歳以下の自殺者が毎年いる状況を踏まえ、引き続きこころの相談日の啓発等に努めるとともに、普段の活動において、必要時関係機関と速やかに連携し支援してまいります。

【回答】（健康こども部こども相談課 担当）

令和3年1月に開設した「苫小牧市こども相談センター」において、北海道室蘭児童相談所苫小牧分室とこども相談課が緊密に連携し、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。

【回答】（教育部指導室 担当）

虐待につきましては、ためらうことなく「こども相談課」または「児童相談所」に通告することを各学校に指導しており、学校から通告し、その後児童相談所に一時保護となったケースが年に数件あります。また、日常の授業での様子や教育相談、校内生活の様子から、いわゆる「ヤングケアラー」として学業に支障をきたしている児童生徒は、現在はいない状況にあります。しかしながら今後も、子どもたちと積極的に向き合ったり、各種調査を行ったりするなどさらにきめ細かく子どもたちの変化を見取っていきます。

18歳以下の自殺については、様々な要因によって起こり得ることを各学校に指導するとともに、児童生徒には、苦しいときにSOSを出しやすい環境にするために、道教委からは「いじめ相談電話カード」、市教委からは「子ども専用悩みごと相談電話・メール」のリーフレットを配付し周知しております。また、不安定な状況にある児童生徒には、スクールカウンセラーや心の教室相談員、医療につなげるなど家庭との連携を密にし対応することを指導しております。

4、道立苫小牧支援学校の新設

・「地域や学校との連携」として、市内各学校の研修に支援学校教員の派遣を要請していただけませんか。

【回答】（教育部指導室 担当）

特別支援学校との連携につきましては、毎年パートナーティーチャー派遣事業により、各学校から希望があった際に特別支援学校の教員が各学校に派遣され、障がいをもった児童生徒の指導等の助言を受けることにより特別支援教育の研修にご協力いただいております。今年度につきましても、12校の小・中学校が特別支援学校の教員の派遣を要請しております。今後、苫小牧支援学校での研修も検討していきたいと考えております。

- ・次年度の入学予定者の掌握し見通しを立ててください。

【回答】（教育部指導室 担当）

現在、小学校6年生において中学校の進学に向け、各学校において保護者と教育相談を進めているところです。各学校での教育相談を踏まえ、苫小牧市教育支援委員会での審議を経て、小学校6年生につきましては、令和3年10月を目途に進学予定校を決定する運びとなります。

また、新小学校1年生につきましては、10月頃に行われる就学時健康診断の結果を基に、適切な学びの場の審議をすすめ、令和4年1月を目途に入学校を決定する予定でございます。

5、保育園、こども園、幼稚園の非正規職員の人数や処遇について調査していただきたい。

【回答】（健康こども部こども育成課 担当）

幼児教育・保育施設につきましては、各施設に運営費をお支払いするにあたって、幼稚園教諭・保育士資格を保有する職員数、任用もしくは勤務時間数などを確認しておりますが、正規・非正規などの任用形態や、賃金体系などの確認は行っておりません。

ご要望にある調査になりますと、事業の認可権者である北海道が必要に応じて実施するものと考えます。

なお、小規模保育施設につきましては、認可権者が市町村であるため、運営事業者からの事業認可申請時の書類審査、市が実施する運営指導監査などによって、運営が適正に行われているのかを確認するなど、実態把握に努めております。

6、小学校35人学級の段階的な実施がはじまりましたが、自治体独自予算での小4年生以上の35人学級前倒し実施を北海道に要望していただきたい。

【回答】（教育部学校教育課 担当）

35人学級の実施には、教職員定数の改善・充実を図る必要もあるため、国の新たな教職員定数改善計画の策定や定数措置の拡充などについて、少人数学級の前倒しも含め引き続き北海道都市教委連等と連携しながら北海道に要望してまいります。

7、学校の1年変形労働制について苫小牧市では、どのようにお考えでしょうか。

【回答】（教育部学校教育課 担当）

本制度は、長期休業期間中に連続した休日を設定することで、リフレッシュの時間を確保し、効果的な教育活動を行う事が出来るなどのメリットがあると言われております。

しかし一方で、個々の教員の勤務時間の割り振りや、その勤務管理などが煩雑となり、管理職の負担が増えることが見込まれることや、校務分掌業務や学校行事などの準備で多忙の中、実際に休日のまとめ取りが可能なのか現時点では判断が難しいと考えています。

市教委といたしましては、道立学校や他市の取り組み状況などを踏まえた上で、制度導入について慎重に判断していきたいと考えています。

8、学校での人種差別・排除の事例は、ありませんか。

【回答】（教育部指導室 担当）

現段階では、人種差別や排除に係る事例につきまして、小・中学生やその保護者、及び地域からの報告や相談等はございません。

しかしながら、一般的な差別や偏見等が背景にあるいじめ等から子どもたちを守るという観点から、教育委員会としては、複数の相談窓口を設置し児童生徒に周知しております。また、児童生徒には「悩みごと相談メール・相談電話」の設置、さらにはすべての学校において、アンケートに基づいた教育相談を複数回実施しております。

教職員対象には「教職員相談事業『教師の悩み』相談しませんか?」としてメール・相談電話を設置するとともに、保護者や地域住民を対象に、苫小牧市のホームページ内で「小中学校における教育相談について」としてメールによる相談及び2箇所の相談電話を設置し周知をしております。